



連携施設との企画会議

この事業は、今年度が2年目であり、引き続き石川県内にある公立青少年教育施設の3施設（白山ろく少年自然の家・白山青年の家・能登少年自然の家）及び石川県教育委員会生涯学習課との連携のもと、「企画委員会」を設立し、昨年の課題をもとに企画段階から計画を練った。このことは、ナショナルセンターとして公立施設に対し、活動の運営方法や安全管理、さらに教育的意義等について、普及啓発していくこともねらいとしている。



	日 時	主な協議内容
第1回全体会	4月18日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・28年度キャンプの報告 ・29年度キャンプのねらい・構想の共有 ・事業の趣旨を踏まえた公立施設プログラムの検討
第2回全体会	5月11日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムデザイン・評価 ・必要物品・必要経費・チラシ・開催要項の検討
第3回部会	6月1日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・活動日程の具体化 ・公立施設現地確認・役割分担(連携の在り方)・必要物品
	6月2日(金)	
実地踏査(登山)	7月6日(木)・7日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・登山事前研修 ・実際のルートの登山 ・職員のスキルアップ、安全面への配慮、装備の検討
第4回全体会	7月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・細案の共通理解 ・事前準備 ・実地踏査、事前説明会での参加者の様子を受けての打ち合わせ
第5回全体会	11月14日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の反省 ・報告書について ・次年度の方向性

白山登山における外部機関との協力体制

1 事前協力

○職員・ボランティアへの登山研修

登山経験豊富な石川工業高等専門学校ワンダーフォーゲル部顧問より職員・ボランティアへ、服装・携行品・安全面等の研修を行った。特に登山経験が浅く、実地踏査に参加していないボランティアにとって貴重な時間となった。

○参加者の健康チェック

白山登山に帯同する看護師に、参加者の健康状態について相談し、必要に応じて事前に医師の診断を受けるよう参加者へお願いするなどした。

2 白山登山行程における協力

看護師1名と石川高専ワンダーフォーゲル部より顧問1名、部員5名が帯同した。看護師及び顧問と部員の中の2名は昨年度も帯同しており、参加者とコミュニケーションを図りながら安全に登山できた。



公立施設職員による登山事前指導



公立施設職員によるイワナつかみ指導



公立施設職員による大型カヌー指導



石川高専ワンダーフォーゲル部と看護師による白山登山帯同